

安芸市流域森づくり構想（案）についてのパブリックコメント提出意見に対する回答及び対応

No	掲載ページ	区分	意見	回答及び対応
1	41、42	3章（3つのテーマに取り組む30のアクションプラン）	3つのテーマに取り組むアクションプランの数が多く感じる。（プランの集約や優先順位の策定が必要ではないか）	本構想は、安芸市に川上から川中、川下のすべての産業がそろっていることを「安芸市らしさ」と捉え、森林・林業・木材産業のすべてを振興させることをミッションとしています。そのため、解決すべき多くの課題について策定委員会で協議を重ね、その結果、この30のアクションプランに至りました。本構想は社会・経済情勢等の変化に柔軟に対応するため必要に応じて随時見直しをすることとしています。ご指摘いただきました適正なアクションプラン数につきましては、今後もアクションプランを進捗管理する中で検討を続けてまいります。
	34、41、42	・3章（3つのテーマに取り組む30のアクションプラン） ・2章（安芸市の森林ゾーニング検討結果）	またこのアクションプランが2項2-4で設定した重点エリアで行うのか別の場所でも行っていくのかが分かりにくい。	ご指摘を踏まえて修正します。
	70	5章（安芸市流域森づくり構想の推進体制）	既存のWGに加え今後新たなWGの組織を検討とあるが、それに伴って森林整備促進協議会の体制強化も必要と考える。協議会の運営を外部のファシリテーターに委託するなど「仕組み化」された組織へと移行し、PDCAサイクルを回す事によって長期に渡る計画がスムーズに遂行できるのではないか。	ご指摘のとおり、本構想の推進には、計画・実行・評価・改善を繰り返す「PDCAサイクルを回す」という管理が重要だと考えています。また、安芸市森林整備促進協議会が中心となるワーキンググループ（WG）に、市民、専門家、高校生等の若い世代に参加してもらうことで、より活発な議論や効果的な取組ができると想定しています。このような長期に渡る取組には継続的に関われる人材が必要であり、今後、林政アドバイザー制度等の活用を検討し、本構想の運営体制の強化を検討したいと考えています。